

こ だ ま

人権週間で学びました！

夢に向かって前進

私は今年、高校に入学したばかりの1年生です。つい先日、友達から「〇〇ちゃんの夢は何」と聞かれました。私には夢がたくさんだったので、即答はできませんでした。少しだって、友達に「人の役に立てるようなことがしたいな」と思い切って言いました。私は、自分の夢などを人に話すことはあまりないので、少し恥ずかしかったです。でも友達は「夢をもつことって、本当に素晴らしいよね。私なんかまだ・・・」

それを聞いて私は、自信がついてきました。今から夢に向かって一歩一歩前進することはいいことなんだ、と強く思うようになりました。夢を実現することは、とても大変なことだと思いますが、これからは一つずつハードルを飛び越すような気持ちで、生活していきたいと思います。

(下野新聞 高校生の投書から)

私たちが、「毎日、充実している」と実感できるのは、どんなときですか。例えば、上の新聞記事のように、自分の夢や目標をもち、その実現に向けて真剣に努力しているときに感じる人が多いと思います。

さて、夢や目標を実現するためには、自分の適性や能力をふまえての努力が必要となります。それを支えるために、日本国憲法（国の中で、最も効力の高いきまり）では、

- **基本的人権（すべての人々が当然もつべきものとして保障されている権利）の享有（生まれつき身につけてもっていること）をさまたげられないこと**
- **個人の尊重（一人一人が大切にされること）**
- **法の下の平等（みんなで決めたきまりは、だれでも守らなければならないこと）**

と定めており、国ではこの時期に人権週間を設けています。東中もそれにならい今回「いじめ信号を見逃さない」を行動目標にして、日常生活を振り返ったり、「ネットいじめ防止教室」を開き、全校生でこの問題について考えたりしました。これを機会に「自他の人権を尊重する」ために、自分は何ができるか考えてみましょう。

年末です。心にゆとりをもちましょう。